

令和2年度 さいたま市都市交通戦略推進委員会

議 事 要 旨

- 日 時 : 令和2年12月9日(水) 10:00~11:30
- 場 所 : 新都心ビジネス交流プラザ4階 会議室C
- 配付資料
 - ・次第
 - ・出席者名簿・席次表
 - ・資料1 さいたま市都市交通戦略の概要
 - ・資料2 施策の実施状況と評価指標に関する整理
 - ・資料3 さいたま市都市交通戦略の継続方針
 - ・参考資料1 施策進捗シート
 - ・参考資料2 さいたま市都市交通戦略推進委員会設置要綱
 - ・参考資料3 さいたま市都市交通戦略[H29.7月改定版]

□ 出席者名

- | | | |
|-----------------------|--------|-----------------------|
| ・埼玉大学大学院 理工学研究科 | 准 教 授 | 小 嶋 文 |
| ・さいたま市障害者協議会 | 理 事 | 川 津 雅 弘 |
| ・さいたま市交通安全保護者の会(母の会) | 会 長 | 家 崎 清 子 |
| ・東日本旅客鉄道(株)大宮支社 企画調整課 | 課 長 | 佃 晋 太 郎
(代理:関根 信久) |
| ・(一社)埼玉県バス協会 | 専務局長 | 関 根 肇 |
| ・埼玉県警察本部 交通部 交通規制課 | 理事官兼課長 | 市 川 光 浩
(代理:瀬沼 文弘) |
| ・さいたま市 建設局 土木部 | 部 長 | 小 泉 勉
(代理:小島 文郎) |
| ・さいたま市 都市局 都市計画部 | 部 長 | 土 屋 愛 自 |

1. 開会

【事務局】(司会)

1-1 会議の公開について

会議は公開とすることで、出席者全員一致で了承。(傍聴希望者なし)

2. 議題

2-1 委員長の選任について

小嶋文委員が委員長となることで、出席者全員一致で了承。

【小嶋委員長】(議長)

- ・ 都市交通戦略は、上位計画に当たる交通マスタープランを具体的に進めていくための計画である。その推進のために、みなさまにはご尽力いただいているところである。一方で、今年の春からの新型コロナウイルス流行に伴い、移動するというものの意味合いが変化している。こういった状況下ではあるが、それぞれの立場からご意見をいただき、都市交通戦略に関する施策の実施状況を確認し、ご議論いただきたい。

2-2 さいたま市都市交通戦略に関する施策の実施状況と評価について

事務局から、資料1「さいたま市都市交通戦略の概要」、資料 2「施策実施状況と評価指標に関する整理」を説明。

【川津委員】

- ・ 1年毎の評価で、遅れの原因分析などが無いと、なぜ達成できなかったのかがわからない。なぜ途中になっているのか、次どのように取り組んでいくのか、具体的などころも記載いただく必要があるのではないかと。
- ・ また、自転車通行帯の計画がR4年度までであるが、整備されても自転車が通行帯を利用せずに歩道を通り抜けているという実態や、バスの乗降時の自転車との交錯については、どのように考えていくのか。

【事務局】

- ・ 進捗が遅れている施策は、理由を確認しなくては改善につながらないというご意

見だと思う。資料2のp.1-4に、所管課に確認した遅れの理由を整理している。今後の取組は具体的には確認していないが、必要に応じて今後検討していきたい。

- ・ 自転車通行帯について、現状はハード面の整備を位置づけているが、利用者への啓発事業についても取り組まれていると思われるため、状況を確認する。
- ・ また、バス乗降と自転車通行帯が同時に存在する場所については、バス停設置箇所には路面標示の注意喚起を行うなど、双方の安全面を考慮しながら取り組まれているものと考えている。

【小嶋委員長】

- ・ 自転車通行帯整備に伴うアウトカム指標として、ソフト面の効果も見られると良いのではという指摘もあったと思う。ご検討いただきたい。

(さいたま市都市交通戦略に関する施策の実施状況と評価は、事務局案の内容で問題ないことを、出席者全会一致で了承)

2-3 さいたま市都市交通戦略の継続方針について

事務局から、資料3「さいたま市都市交通戦略の継続方針」を説明。

【川津委員】

- ・ CO2の増加の話があった。今後減少を目指していく必要があると思うが、計画の中では具体的にどういった施策が検討されているのか。

【事務局】

- ・ CO2排出量は様々な要素に関わるが、運輸部門とすると、一つは、マイカー利用の抑制、及び公共交通への転換を促すということがある。利用しやすい公共交通体系の構築ということで進めているところである。

(事務局案のとおり、来年度以降も都市交通戦略を継続することを出席者全会一致で了承)

3. その他

事務局から、「さいたま市都市交通戦略改定スケジュール」「さいたま市都市交通戦略の施策更新案の概要について」を説明。

【川津委員】

- ・ バリアフリーの取組みについても新たに位置付けるとのことだが、大宮駅では電車とバスの間に距離がある。障害者や車いすの方は、特に東口にはエレベーターがないので、バスに乗るために不便な思いをしている。

- ・ ホームドアの整備などもこちらの施策に含まれてくるのか。
- ・ また、無人駅について、何かあったときに呼ぶ方法に困るため、駅員の手助けが必要だが、そういった意見への対応は含まれてくるのか。

【事務局】

- ・ 主要駅から主要な生活施設への動線における誘導ブロックや段差の解消に関する取組みが主たるものと考えている。
- ・ 施策の詳細については、バリアフリー基本構想という別の個別計画に基づいて検討・位置づけられており、それに関する意見・議論の場としては、バリアフリー専門部会が別に設置されている。
- ・ 交通戦略では、交通に関連する施策を方針別に位置づけ、各々の施策主体が関連する施策の取り組み状況を踏まえながら、戦略的に推進していくことを目的としているものである。

【小嶋委員長】

- ・ 意見照会はどのような形で予定しているのか。

【事務局】

- ・ 施策のほか、評価指標の更新についても照会を予定している。

4. 閉会

【事務局】(司会)

- ・ 貴重なご意見をいただきありがとうございました。次回は、2/25（木）10:00～を予定している。引き続き、よろしくお願いいたします。

以上